

HAT CROSS

神戸赤十字病院広報誌
2011 vol.27

よりよい医療の提供に向けて

（平成22年度満足度調査報告）

当院では日頃から、患者さまへの「より良い医療」の提供を全職員が心がけて努力しています。その活動として患者サービス向上委員会を設置して、平成21年度には患者満足度調査を実施いたしました。その結果、継続して調査することが重要と考えましたので、今年度も引き続いて患者満足度調査を実施し、現在の状況、今後の課題を検討しましたので調査結果の一部を報告いたします。

ご協力頂いた患者さま、ご家族の皆様には御礼申し上げます。

調査期間

外来 平成22年12月6日～17日（10日間）
標本数…486

入院 平成22年12月6日～
平成23年1月31日（35日）
標本数…223

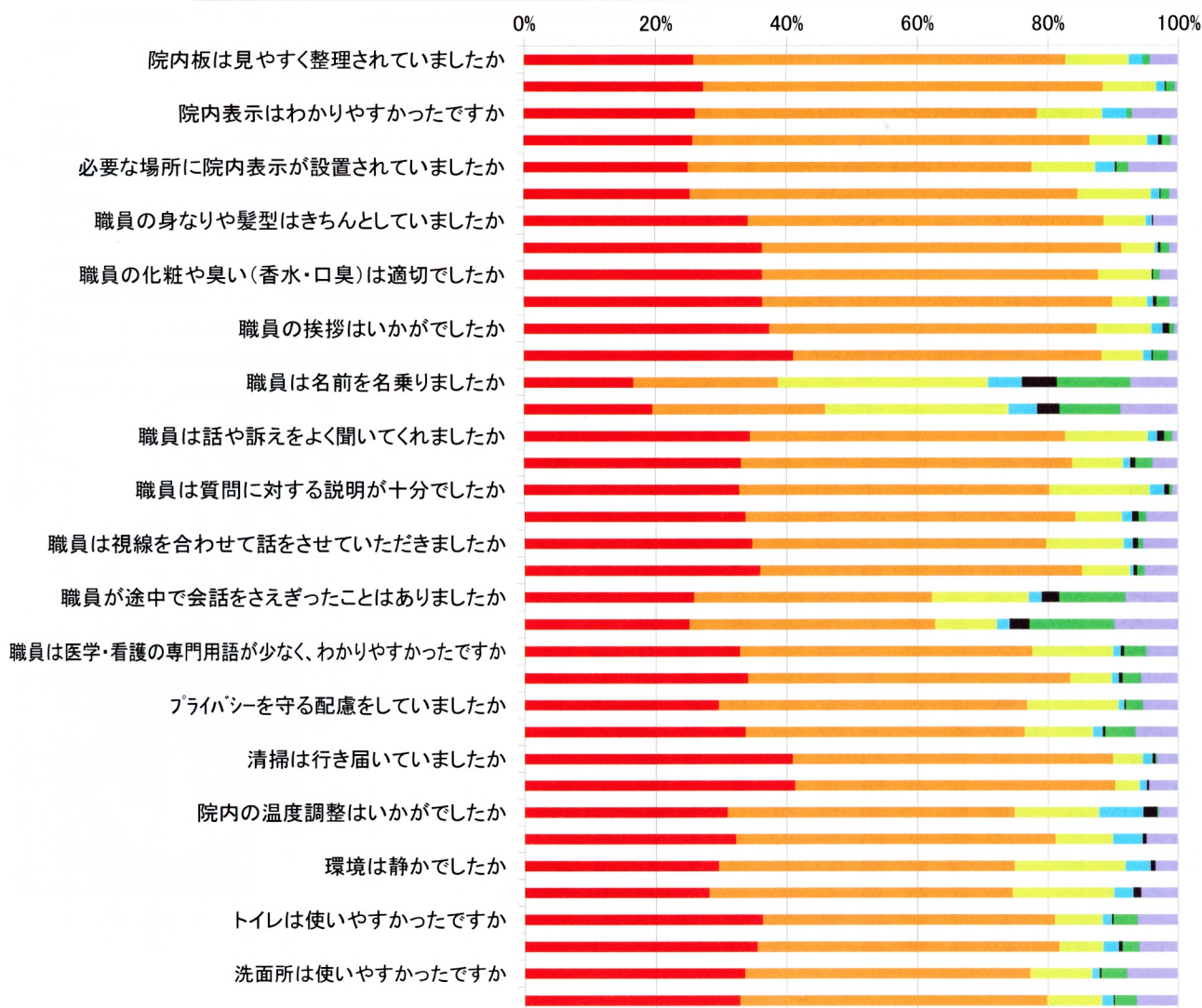
標本数を増やすために調査期間を昨年より長くしています。外来は5日間から10日間、入院は22日間から35日間とし、標本数は各々371から486、166から223となっています。



外 来 満 足 度

※ 上段：平成21年度 下段：平成22年度

■ 大満足 ■ 満足 ■ どちらでもない ■ やや不満 ■ 不満 ■ 該当なし ■ 無回答



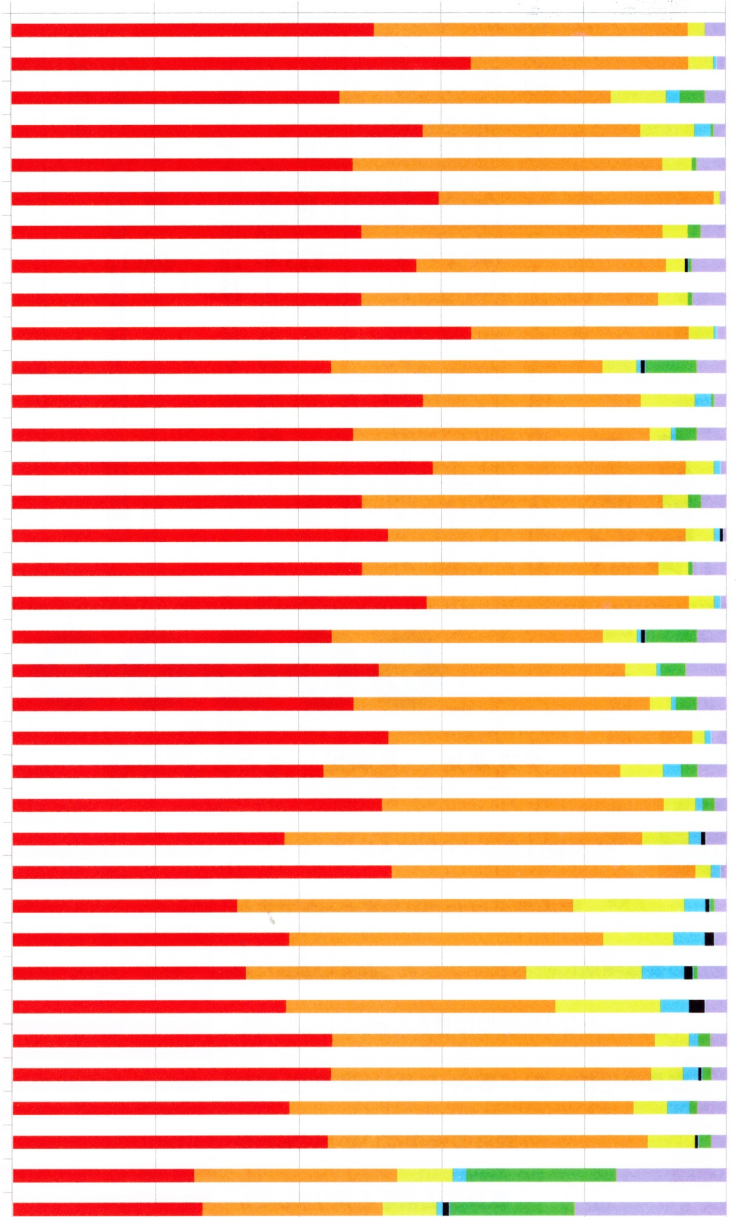
入院満足度

※ 上段:平成 21 年度 下段:平成 22 年度

■ 大満足 ■ 満足 ■ どちらでもない ■ やや不満 ■ 不満 ■ 該当なし ■ 無回答

0% 20% 40% 60% 80% 100%

- 入院の案内はスムーズでしたか
- オリエンテーションの内容はいかがでしたか
- 職員の身なりや髪型はきちんとしていましたか
- 職員の化粧や臭い(香水・口臭)は適切でしたか
- 職員の挨拶はいかがでしたか
- 職員は名前を名乗りましたか
- 職員は話や訴えをよく聞いてくれましたか
- 職員は質問に対する説明が十分でしたか
- 職員は視線を合わせて話をさせていただきましたか
- 職員が途中で会話をさえぎったことはありませんでしたか
- 医学・看護の専門用語が少なくわかりやすかったですか
- プライバシーを守る配慮をしていましたか
- 清掃は行き届いていましたか
- 院内の温度調整はいかがでしたか
- 環境は静かでしたか
- トイレは使いやすかったですか
- 洗面所は使いやすかったですか
- 浴室は使いやすかったですか

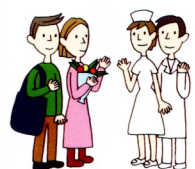


調査結果は、外来、入院ともにほとんどの項目において、満足していただいているようです。項目別にみますと、「職員は名前を名乗りましたか」、「職員が途中で会話をさえぎったことはありませんでしたか」という二つの項目が、外来では前回と同様に満足度が低く、入院ではこれら項目は昨年より満足度が高くなっています。入院においては改善していますが、外来においては昨年の反省を生かしていません。また、入院患者さまにおいて、院内の温度調整、静かな環境、トイレ、洗面所、浴室に改善しきれない問題があるようです。

今回の調査では、昨年より良い結果となっていますが、患者さまへの配慮がいたらない面がまだまだ残っていると考えます。明らかに残っている問題点につきましては、患者サービス向上委員会メンバーを中心に全職員で引き続いて改善に努力していきたいと存じます。今後とも、より良い医療の提供に協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。また、日頃でもお気づきの点がございましたら、職員へのアドバイスを願いたします。

患者サービス向上委員会

委員長 山下晴央(副院長)





『患者さまの立場に立ち、迅速・正確な 検査データの提供に努めます』

検査部

医師は患者さまの病気を診断する際や病気の治療方針を立てたり、治療効果を判定する際、様々な臨床検査のデータを参考に総合判断を行います。これらの検査を専門的に扱う部署を検査部といいます。臨床検査は検体検査と生理機能検査に大きく分けられます。

● 検体検査は患者さまから採取された尿、血液、その他の体液、組織などの検体を目的や検査手法別に調べます。分野としては一般検査、生化学・免疫検査、血液検査、輸血検査、細菌検査、病理細胞検査に分かれています。

☆ 一般検査は主に診察前の尿検査を主に行い、採血検体に関しては血液検査として血球計数、血液細胞像、凝固機能等の検査や生化学・免疫検査として肝機能、腎機能、脂質、ホルモン、腫瘍マーカーなど多数の項目を測定します。これらは高精度な自動分析装置で測定され、最も迅速かつ正確性が要求されます。

☆ 輸血検査は手術、出血、重度の貧血等で輸血が必要になった際に患者さまの血液型や不規則抗体等を検査し輸血用血液製剤と適合するか否かを調べ、安全で適正な血液製剤の提供に努めています。

☆ 細菌検査は提出された検体を培養して病原菌の有無、種類を調べその菌に対する薬剤感受性（各種抗生剤の効き具合）を検査します。インフルエンザ等の各種迅速検査等も行っています。

☆ 病理細胞検査は手術、試験切除、内視鏡下で採取された組織を病理診断するため標本作成や細胞検査として尿・婦人科・呼吸器・体腔液などの検体から得られた細胞で悪性細胞の有無などを検査しています。

● 生理機能検査は患者さまに直接接し生体から生じる微弱な活動電位や生体現象を電子機器を用いて測定する検査で、心電図・血圧脈波・呼吸機能・脳波・

< 認定資格者一覧 >

認定輸血検査技師	3名
認定微生物検査技師	1名
認定一般検査技師	1名
国際細胞検査士	5名
超音波検査士	5名
二級臨床病理技術士	2名



〔検体検査:検体搬送分析装置〕



〔生理検査:超音波検査〕



筋電図・神経電動速度・聴力等があり、画像診断としては超音波（エコー）検査として腹部・心臓・血管・体表面等を担当しています。

臨床検査は医療の進歩とともに検査の種類も増え、各分野での専門性も深まって来ています。昨年の電子カルテ導入に伴い、新たな高度分析機器も導入され少量の検体でより高精度で迅速報告が可能となりました。

我々は糖尿病教室、栄養サポートチーム（NST）、感染対策チーム（ICT）などのチーム医療にも参画しながら、常に新しい知識と技術の習得のために、各専門分野での認定資格の取得にも取り組んでいます。今後も「迅速・正確な結果報告」をモットーに患者さまの立場に立って診療ニーズに応えるよう24時間体制で業務に当たって行きます。

基本方針

1. 患者さまの人権と意思を尊重し、根拠に基づいた、安心と満足が得られる医療を提供します。
2. 地域医療機関と連携して、地域全体で一貫した医療を提供します。
3. 救急医療、災害救護・国際救援活動を行います。
4. 内外の医療従事者の育成に努めます。
5. わたしたちは、日々研修・研鑽し明るく活力ある職場づくりに努めます。

神戸赤十字病院「患者の権利に関する宣言」

神戸赤十字病院は、医療の中心は患者さまであり、医療行為が患者さまと医療関係者との信頼関係の上に成り立つものであることを深く認識し、ここに、「患者の権利に関する宣言」を制定いたします。

当院の全職員は、この「患者の権利に関する宣言」を守り、患者さまの医療に対する主体的な参加を支援してまいります。

1. 一人の人間として、その人格・価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。
2. だれでも、どのような病気にかかった場合でも、良質な医療を公平に受ける権利があります。
3. 病気、検査、治療、見直しなどについて、わかりやすい言葉や方法で、納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。
4. 十分な説明と情報提供を受け、納得したうえで、検査や治療方法などを自分の意思で選ぶ権利があります。
5. 自分が受けている診断や治療について、他の医師の意見を求める権利があります。（セカンドオピニオン）
6. 自分が受けている医療を知るために、診療記録の開示を求める権利があります。
7. 研究途上にある医療に関して、目的や危険性などについて十分な情報提供を受けたうえで、それを受けるかどうか決める権利と、何らの不利益を受けることなくいつでも中止を求める権利があります。
8. 診療の過程で得られた個人情報（秘密）が守られ、病院内での私的な生活を可能な限り他人にさらされず、乱されない権利があります。

お薬 四方山話

21

『子宮頸がん予防ワクチン』

薬剤部

吉井 妙



子宮頸がんは女性特有のがんで、日本では年間約8500人が発症し、近年では20〜30代の若い女性の発症率が増加傾向にあります。

ほとんどの子宮頸がんは性交渉によるヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が原因です。このがんを予防するための「子宮頸がん予防ワクチン」が一般の医療機関で接種できるようになったことをご存知ですか？この子宮頸がん予防ワクチン、実は海外ではすでに100カ国以上で使用されているものなのです。正しい知識をもっていれば、子宮頸がんは自分で予防することができます。大切なあなたからだを守るために検診と予防ワクチンのことをこの機会にお話ししたいと思います。

子宮頸がん予防ワクチンは、発がん性HPVの中でも特に子宮頸がんの原因として最も多く報告されているHPV16型と18型の感染を防ぐワクチンで、発がん性HPVの感染から長期にわたってからだを守る事が可能です。ワクチンは肩に近い腕の筋肉に注射します。1〜2回の接種では十分な抗体ができないため、半年の間に3回の接種が必要です。ただし、このワクチンを接種することでHPV16型と18型の感染を防ぐことができますが、全ての発がん性HPVの感染を防ぐことができるわけではありません。そのためワクチンを接種しなかった場合と比べれば可能性はかなり低いものの、ワクチンを接種していても子宮頸がんにかかる可能性はあります。

子宮頸がんを完全に防ぐためには、子宮頸がんワクチンの接種だけでなく、定期的に子宮がん検診を受けることが大切です。ワクチン接種後も年に1回は子宮がん検診を受けるようにしましょう。

★簡単に塩分に換算する方法★

【表示されているNa(ナトリウム)に2.54をかける】

例: Na1.8g(1800mg) × 2.54 ÷ 4.6g(4572mg)

【どこから2.54が出てきたの?】

NaCl食塩の分子量 ÷ Naナトリウムの分子量

NaCl(58.44)

Na(22.9877) = 2.54 答え2.54

以上のことからNa × 2.54 = 塩分相当量になります。

神戸赤十字病院 1階 売店にて(福井調べ)

商品名	栄養成分単位	エネルギー(kcal)	ナトリウム(表示)	食塩相当量(g)
特選幕の内弁当	1包装当り	925	1.8g	4.6
幕の内弁当	"	878	1.5g	3.8
満足ミックス弁当	1食当り	1147	1823mg	4.6
ミニ助六	1食当り	423	1313mg	3.3
おにぎり彩葉弁当	1包装当り	914	2.3g	5.8
エビたっぷりツナサンド	"	537	759mg	1.9
彩りランチボックス	"	692	1.3g	3.3
UFO焼きそば	1食当り	573	2.0g	5.1

※Na(ナトリウム)の表示には、(g)と(mg)表示があります。(1000mg = 1g)

栄養課だより

25



今回は、食品成分表示についてワンポイントアドバイスです。食品成分表示は、品名・原料名・消費期限・保存方法・製造者と1包装当たりの栄養成分について表示されています。その中で塩分について表示されている商品もごさいますが、多くはNa(ナトリウム)として表示されています。

当院の売店には毎日200品(弁当・サンドイッチ・パン・惣菜等)と新鮮な商品が入っています。安くて美味しいので良く利用します。最近選んだ弁当を調べてみました。殆どの商品にラベルが貼ってあり、食塩の量がわかります。日本人の栄養摂取基準での目標量は、男性9.0g、女性7.5gです。しっかりと味のついた弁当が多いですから、味をみてから醤油、マヨネーズをかけましょう。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society
神戸赤十字病院

神戸赤十字病院広報誌 HAT CROSS 2011 Vol.27

発行日 2011年5月

発行者 神戸赤十字病院 広報委員会

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1丁目3番1号

TEL (078) 231-6006 (代) FAX (078) 241-7053

ホームページ <http://www.kobe.jrc.or.jp/>